



年間時間割表



No.	月日	時間	科目	時間数	備考
	10月22日(水)	14:00～14:50	開講式		
1	〃	15:00～17:00	開講記念講演：ロジスティクスの現状と将来	2	
2	11月1日(土)	12:45～13:35	トラック業界、協会の現状と課題	1	第1回宿泊研修
3	〃	13:45～15:45	物流業論	2	第1回宿泊研修
4	〃	16:00～18:00	物流政策と法令	2	第1回宿泊研修
5	〃	19:00～21:00	先輩経営者と語る	2	第1回宿泊研修
6	11月2日(日)	8:00～12:00	本講座の狙い・企業研究の進め方	4	第1回宿泊研修
7	11月12日(水)	13:30～15:30	荷主動向	2	
8	〃	15:45～17:45	物流市場	2	
9	11月19日(水)	13:30～17:45	修了論文としての自社計画の立て方	4	
10	11月29日(土)	10:00～17:00	ビジネスデータ処理技術(入門編)	6	
11	11月30日(日)	10:00～17:00	ビジネスデータ処理技術(ベーシックコース)	6	
12	12月3日(水)	13:30～15:30	静脈物流とリサイクル	2	
13	〃	15:45～17:45	車と環境問題	2	
14	12月10日(水)	13:30～15:30	市場戦略	2	
15	〃	15:45～17:45	グループ討議Ⅰ	2	
16	1月14日(水)	13:30～15:30	マーケティングの実際	2	
17	〃	15:45～17:45	特別講義Ⅰ	2	
18	1月21日(水)	13:30～17:45	ロジスティクス技法	4	
19	1月28日(水)	13:30～15:30	安全マネジメントによる運輸業経営の効率化	2	
20	〃	15:45～17:45	グループ討議Ⅱ	2	
21	2月10日(火)	13:30～15:30	包装	2	
22	〃	15:45～17:45	公的資金の活用方法	2	
23	2月18日(水)	13:30～17:45	荷役と保管システム	4	
24	2月25日(水)	13:30～15:30	流通加工作业研究	2	
25	〃	15:45～17:45	安全管理	2	
26	3月4日(水)	13:30～15:30	情報ネットワークⅠ(総論)	2	
27	〃	15:45～17:45	情報ネットワークⅡ(実例)	2	

No.	月日	時間	科目	時間数	備考
28	3月8日(日)	10:00～17:00	ビジネスデータ処理技術(アドバンスコース)	6	
29	3月11日(水)	13:30～15:30	物流史	2	
30	〃	15:45～17:45	特別講義Ⅱ	2	
31	4月1日(水)	13:30～17:45	営業管理	4	
32	4月8日(水)	13:30～17:45	財務会計	4	
33	4月15日(水)	13:30～15:30	顧客契約管理	2	
34	〃	15:45～17:45	グループ討議Ⅲ	2	
35	4月22日(水)	13:30～15:30	国際物流	2	
36	〃	15:45～17:45	特別講義Ⅲ	2	
37	5月13日(水)	13:30～17:45	資金管理	4	
38	5月20日(水)	9:00～17:00	企業見学	8	
39	5月27日(水)	13:30～17:45	輸配送管理	4	
40	6月6日(土)	13:00～15:00	先輩経営者に訊く	2	第2回宿泊研修
41	〃	15:15～17:15	自社計画の策定(課題別研究)	2	第2回宿泊研修
42	〃	19:00～21:00	(グループ討議)	2	第2回宿泊研修
43	6月7日(日)	8:00～10:00	(グループ討議)	2	第2回宿泊研修
44	〃	10:00～12:00	グループ別発表	2	第2回宿泊研修
45	6月10日(水)	13:30～15:30	特別講義Ⅳ	2	
46	〃	15:45～17:45	自社計画の策定(補講)	2	
47	6月17日(水)	13:30～17:45	労務管理	4	
48	6月24日(水)	13:30～15:30	労働市場	2	
49	〃	15:45～17:45	労働関係法令	2	
50	7月1日(水)	13:30～15:30	交通行政と物流	2	
51	〃	15:45～17:45	共同化・協業化と協同組合	2	
52	7月22日(水)	9:00～18:00	自社計画の発表と講評	8	
53	8月5日(水)	13:40～15:40	資格認定試験		
54	9月2日(水)	16:00～16:40	修了式		

第15期 物流経営士課

物流総論

我が国の産業構造の中で物流の占める位置と将来展望を学び、視野を広げます。

【到達目標】 自社や自分の進むべき方向性を見極める。

講座名	時間数	科目名	主な内容	講師
物流総論	2	ロジスティクスの現状と将来	○ダイナミックに変貌する物流環境の現状と将来展望	武田正治〔東京都市大学名誉教授〕
	1	トラック業界と協会の現状と課題	○物流の根幹を担うトラック業界とトラック協会の現状と課題	(一社)東京都トラック協会役員
	2	物流史	○輸送手段の変遷など物流の過去、現在、未来	藤井秀登〔明治大学教授〕
	2	物流政策と法令	○我が国物流政策の最新情報と物流二法等関連法令の基礎	(公社)全日本トラック協会役員
	2	交通行政と物流	○激化する首都東京の交通状況と交通行政の方向性 ○道路交通法等関係法令のポイント	別部鎮雄〔交通問題研究所主宰〕
合計時間数	9			

経営外部環境

トラック運送事業者として必要な物流に関するキーワードを学び、新分野のロジスティクスニーズに対し、いち早く有効な情報を見だし、ビジネスチャンスをつかむ能力を高めます。

【到達目標】 物流の市場動向と輸配送ニーズを把握し、将来の市場展開の道筋を立てる。

講座名	時間数	科目名	主な内容	講師
外部環境	2	荷主動向	○物流システム、ロジスティクス、SCMへの取り組み、3PL、郵政事業への参入	湯浅和夫〔(株)湯浅コンサルティング代表取締役社長〕
	2	物流業論	○荷主ニーズ変化への対応 ○コア・コンピタンス戦略 ○総合化、専業化等物流事業者の進むべき方向性	山田 健〔山田経営コンサルティング事務所代表〕
	2	物流市場	○産業活動(倉庫・ターミナル・海上・鉄道・航空コンテナなど) ○消費流動(引越・宅配など) ○物流品質 ○据付、組立等加工作業	武田正治〔東京都市大学名誉教授〕
	2	静脈物流とリサイクル	○循環型社会の形成と物流の役割 ○リサイクル法と物流	木村俊弘〔元 東京 23 区清掃協議会事務局長〕
	4	ロジスティクス技法	○在庫管理 ○物流 ABC	内田明美子〔(株)湯浅コンサルティング コンサルタント〕
	2	市場戦略	○物流業におけるマーケティング、マーケット・ニーズの把握 ○商品戦略と商品開発 ○効果的な提案書の作成	重田靖男〔(株)東京ロジスティクス研究所顧問〕
	2	マーケティングの実際	○先進企業の事例	重田靖男〔(株)東京ロジスティクス研究所顧問〕
	2	労働市場	○若年労働力の動向、学生アルバイト・パート・派遣労働者等の労働市場 ○女性ドライバーの展望 ○少子化高齢化、高学歴化、ポーターレス化への対応	小林弘和〔社会保険労務士〕
	2	車と環境問題	○環境問題の現状 ○自動車エンジンの技術開発の動向 ○新エネルギーの動向	竹中嘉英〔日野自動車(株)参事〕
	事故・融資・協業・情報	2	安全マネジメントによる運輸業経営の効率化	○交通事故とコスト、コスト負担、保険 ○リスクマネジメント ○安全への取り組み
2		公的資金の活用法	○金融事情 ○中小企業近代化融資・制度融資の現状	(株)商工組合中央金庫ソリューション事業部
2		共同化・協業化と協同組合	○共同化・協業化の方向性 ○協同組合活動の現状と活動戦略	本田 宏〔郡山トラックセンター事業協同組合専務理事〕
2		国際物流	○国際物流の動向と環境の変化 ○現地合弁物流企業の現状と展望 ○輸出入代行業務	大出一晴〔(株)通総合研究所ロジスティクスコンサルティング部シニアコンサルタント〕
ネットワーク	2	情報ネットワークⅠ	○IT技術の動向と将来 ○トラック運送事業におけるIT活用	芝田稔子〔(株)湯浅コンサルティング コンサルタント〕
	2	情報ネットワークⅡ	○IT導入事例	未定
合計時間数	32			

経営内部環境

企業における人・物・金の効率的な運用手法を学び、マネジメント能力を高めます。

【到達目標】 営業・財務・労務などの企業管理体制や輸配送・保管・流通加工など物流システムの効率化をデザインする能力を身につける。

講座名	時間数	科目名	主な内容	講師
管理体制の確立	4	営業管理	○公的データによる計数的な営業戦略の立案、マーケティングリサーチと提案入札、運賃その他の料金折衝と見積書の作成、新規・既存顧客へのアウトソーシング提案書の作り方 ○顧客管理・商品管理	武田正治〔東京都市大学名誉教授〕
	2	顧客契約管理	○得意先訪問のスケジュールと折衝内容、物流、ロジスティクス改善提案の仕方、運送からロジスティクスへの転換提案	岡田英男〔(株)バルコムロジプランビジネスディレクター〕
	4	財務会計	○財務諸表の見方、作り方 ○決算書の分析、借り入れ限度額の判定基準 ○財務分析・コスト管理	齊藤司享〔さいとう経営センター(株)代表取締役社長〕
	4	資金管理	○資金管理の役割、資金調達と運用、資金管理の分析手法 ○運転資金管理 ○キャッシュフロー計算書の分析	齊藤司享〔さいとう経営センター(株)代表取締役社長〕

※都合により、講師を変更する場合があります。

管理体制の確立	4	労務管理	○トラック運送事業における労務管理の特徴、採用時の適性検査、就業規則労働時間管理、賃金の決め方 ○人材開発体制、勤務評価制度の確立 ○職場環境、労働組合	小林弘和〔社会保険労務士〕
	2	労働関係法令	○労働基準法等労働関係法令	瀧澤 学〔社会保険労務士〕
効率向上と安全対策	4	輸配送管理	○最短ルート（ATIS の活用） ○ドライバーの乗務割りと配車 ○運賃折衝のためのデータ整備（時間・距離・作業分析） ○見積原価計算のシステム化	横山真一郎〔東京都市大学教授〕
	2	包装	○包装技術の意義、包装の種類と技術 ○パレット・コンテナ・オリコンと包装の有機的関係 ○モジュールとユニットロード化 ○環境問題への対応	長谷川淳英〔長谷川技術士事務所技術士〕
	4	荷役と保管システム	○坪貸料率と作業費の設定 ○荷役・運搬の分析と改善方法、保管システムの種類と利害得失 ○倉庫レイアウトの基本、自動化・機械化の手法	篠塚元雄〔㈲ロジスティクスコンサルティング 代表取締役社長〕
	2	流通加工作業研究	○流通加工システムと設備・機器 ○流通加工システムの設計 ○パートタイマーマネジメント	関 護〔㈲ロジスティクス総合研究所 代表取締役社長〕
	2	安全管理	○安全の基本、フェールセーフ、安全運転、運行管理 ○交通事故防止と安全教育 ○始業時点検・終業時点検時のドライバーのチェック項目 ○安全管理組織の確立	牧野 肇〔安全管理研究所代表〕
合計時間数	34			

情報処理技術

現代の経営者は、まず計数に敏感でなければなりません。また、IT 化がますます進展する中で IT ツールを駆使する能力が求められます。そこで、基礎的なデータ処理やネットワークの構築、インターネットの活用などに必要な情報処理技術を習得します。

【到達目標】 自社の日常業務をシステム化し、科学的な計数管理体制を確立する。

講座名	時間数	科目名	主な内容	講師
情報処理技術	6	ビジネスデータ処理技術（入門編）	○エクセル、アクセスによる自社の会計、ドライバー・車両、顧客管理ソフトの作り方	武田正治〔東京都市大学名誉教授〕 横山真一郎〔東京都市大学教授〕他
	6	ビジネスデータ処理技術（ベーシックコース）	○パワーポイントによるスライドの作成。 ○インターネットの活用	
	6	ビジネスデータ処理技術（アドバンスコース）	○社内ランの構築方法	
合計時間数	18			

事例研究

同業者や顧客の先進的な事例を現場で学び、実行力を身につけます。

【到達目標】 自社の将来計画を具体的な数字で計画し、パソコンでシミュレーションし、具体的な数字でモデル化する。

講座名	時間数	科目名	主な内容	講師
事例研究	4	企業研究の進め方	○事例研究の手法	武田正治〔東京都市大学名誉教授〕
	8		○自社計画策定のための課題別グループ研究・討議	武田正治〔東京都市大学名誉教授〕 重田靖男〔㈱東京ロジスティクス研究所顧問〕 岡田英男〔㈱バルコムロジプランビジネスディレクター〕
	8	企業見学	○先進企業の物流現場	見学先未定
	4	先輩経営者に訊く	○先輩経営者の経営理念・人材育成手法等	東ト協会員事業者他
合計時間数	24			

自社将来計画策定

修了論文として、自社の3年計画を策定します。

【到達目標】 パソコンを用い、シミュレーションモデルで作成した自社3年計画をパワーポイントで発表する。

講座名	時間数	科目名	主な内容	講師
自社計画策定	6	計画の立て方（補講2時間を含む）	○計画策定の方法	武田正治〔東京都市大学名誉教授〕
	(10)	計画策定	○近未来の自社計画をパソコンで作成（ホームスタディ）	
	8	発表・講評	○自社計画をパワーポイントで発表	岡田 清〔成城大学名誉教授〕 武田正治〔東京都市大学名誉教授〕 横山真一郎〔東京都市大学教授〕 湯浅和夫〔㈱湯浅コンサルティング代表取締役社長〕
合計時間数	14			

課題別討議と発表

合計時間数 6 時間

これからの経営者は、顧客に対し、提供サービスの内容や改善策、また、自社の将来構想等を客観的なデータに基づき説明できる能力が求められます。そこで、講義の理解をより確かなものにするともに、討議や説明能力を身につけるため、授業の節目ごとに小グループ討議を行い、その結果を発表します。

特別講義

経営者としての常識と経営能力を育てるために、トピックなテーマを選んで講義を行います。

講座名	時間数	テーマ	講師
特別講義	8	経済、社会、物流、経営戦略、IT 等の最新情報、実践事例などテーマを選び研修する。4 コマ	未定
合計時間数	8		